

上手に使おう 横浜の水
～健康と豊かな暮らしは 蛇口から～

“大切なひとのために”

横浜

水缶

と

ピンクリボン
かながわ



は協働で

飲料水備蓄・乳がん検診を推進します！

水道局では災害に備え、日頃から市民の皆様にも最も身近な災害対策として、「最低1人3日分で9リットル以上」の飲料水の備蓄をお願いしています。このたび、水道局と「ピンクリボンかながわ」が協働して、“大切な人のために”をキーワードに、10月のピンクリボン月間を中心に飲料水備蓄と乳がんの早期発見、早期治療の大切さを広く社会へ呼びかけます。水道局と「ピンクリボンかながわ」との協働は3年目となります。

昨年10月1日に「横浜市がん撲滅対策推進条例」が施行されたことを受け、がん検診事業を実施している健康福祉局とも協力して、この機会に多くの市民の皆様にも「飲料水備蓄」と「がん検診の受診」の大切さを呼びかけます。

横浜水缶 ピンクリボン缶の販売

7年保存・備蓄飲料水「横浜水缶」のラベルにピンクリボンロゴを表記したピンクリボン缶を製造し、一般販売を通じてピンクリボン活動を啓発します。

■販売価格：横浜水缶 1箱（500mL 24本入 計12リットル）1,800円（税込）

■保存期限：製造日より7年間保存可能 ■配達先：横浜市内に限る

お得なキャンペーン中！

10月31日（土）注文分まで特典付き販売中！

この機会に、ぜひご家庭や職場での飲料水備蓄にご利用ください。（ピンクリボン缶完売後も、期間中は通常缶で特典付き販売します。）

◎3つの特典

- 特典1 キャンペーン期間中のご注文は配達料無料！（配達市内限定）
- 特典2 3箱購入ごとに給水リュック1個プレゼント！
- 特典3 10箱購入ごとに横浜水缶を追加で1箱プレゼント！

◎キャンペーン期間

平成27年9月1日（火）から10月31日（土）ご注文分まで

◎ご注文先

水道局お客さまサービスセンター（24時間365日受付）

電話 045-847（はちよんな）-6262 FAX 045-848-4281



ピンクリボンかながわ2015

(主催：ピンクリボンかながわ)



ピンクリボンかながわが参加する横浜カーフリーデー2015などのイベントで横浜水缶「ピンクリボン缶」の無料配布や啓発チラシの配布を行い、飲料水備蓄啓発を行います。

●ピンクリボンキャンペーン

9月22日(火・祝) 11:00~16:00

場所：横浜公園(横浜カーフリーデー2015会場内)

- ・ピンクリボンセレモニー
- ・マンモグラフィ車展示 ほか

●ライトアップセレモニー

9月25日(金) 17:40~18:30

場所：神奈川県庁本庁舎

●ピンクライトアップ

9月25日(金)~27日(日) 18:00~22:00

場所：神奈川県庁本庁舎、横浜市開港記念会館、横浜税関、横浜マリンタワー

よこはまコスモワールド大観覧車「コスモクロック21」、象の鼻パーク ほか

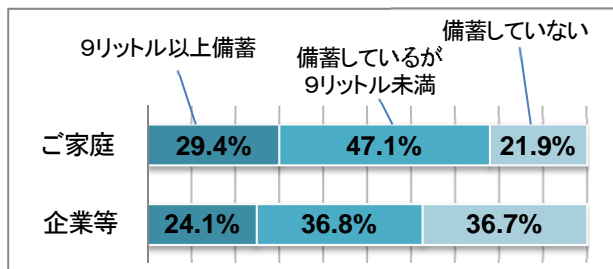


ライトアップされた神奈川県庁本庁舎

データ

【災害用飲料水の備蓄状況】

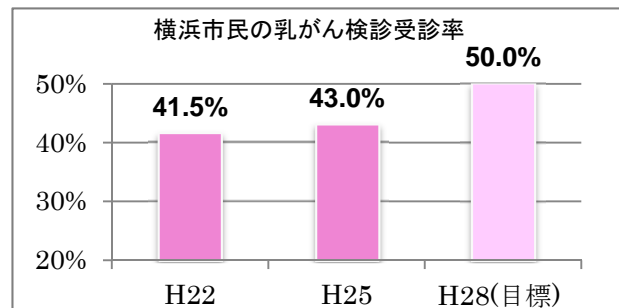
飲料水の備蓄の目安である「3日分でひとり9リットル以上」を備蓄している方は、ご家庭で29.4%、企業等で24.1%と、備蓄の割合は十分とは言えない状況です。



出典：平成26年度「水道に関するお客さま意識調査」

【乳がん検診の受診率】

横浜市民の乳がん検診の受診率は平成25年度の調査で43%であり、受診率向上のために、より一層の啓発が必要です。



出典：平成22年度、平成25年度「国民生活基礎調査」

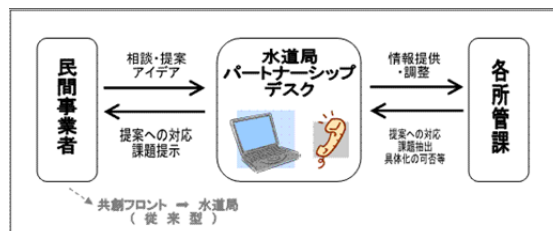
※ この取組は「ピンクリボンかながわ」より、水道局「パートナーシップデスク」に提案があり、その後双方が協議し実現したものです。

※ 「ピンクリボンかながわ」とは

乳がんと乳がん検診についての知識の普及啓発をはかることを目的として活動しており、(公益財団法人)神奈川県予防医学協会に事務局を置く団体です。

※ 水道局パートナーシップデスクとは

水道局と企業・NPO法人など民間事業者がお互いの強みを活かし、新たな水道事業の創出とさらなる公民連携を進めていくための、水道事業に特化した提案受付窓口です。



お問合せ先

水道局総務課長 直井 ユカリ 045-633-0102 (ピンクリボン缶に関すること)
健康福祉局保健事業課事業推進担当課長 秋元 政博 045-671-3930 (がん検診事業に関すること)